

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月23日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン
 コード番号 4929 URL <http://www.adjuvant.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3136
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月30日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年3月21日～平成27年9月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,184	5.8	361	5.8	425	21.6	249	38.5
27年3月期第2四半期	2,065	△5.6	341	△35.8	349	△35.3	180	△43.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 241百万円 (31.9%) 27年3月期第2四半期 183百万円 (△42.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	31.82	31.44
27年3月期第2四半期	23.35	22.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	5,448	4,379	80.4	557.58
27年3月期	5,479	4,326	79.0	550.79

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 4,379百万円 27年3月期 4,326百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年3月21日～平成28年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,787	6.3	673	△8.3	753	△0.7	410	772.6	52.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	7,855,200株	27年3月期	7,855,200株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	－株	27年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	7,855,200株	27年3月期2Q	7,727,400株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

（注）この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明会資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成27年10月26日（月）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の景気、雇用情勢は総じて改善傾向にあり、個人消費も底堅い動きがみられる等、緩やかな回復基調にあります。一方で、美容業界におきましては、顧客単価の下落、来店サイクルの長期化等、サロン※注1経営において厳しい環境が続いており、当社商品を販売するA・C・Sサロン※注2においても同様の影響がありました。

このような状況のもと、当社グループは、営業方針を「顧客の創造・顧客の固定化」「カウンセリングの徹底」「知識・技術習得の強化」「年間販促計画（キャンペーン）の活用推進」として掲げ、サロンの安定した経営サポートを目指しました。また、スキンケア、ヘアケアのみならずボディケアを含めたトータル提案に対応できるよう、商品ラインアップの充実に取り組んでおります。

なお、A・C・Sサロン登録軒数につきましては、当第2四半期連結会計期間末で6,992軒(前期末比234軒増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,184百万円（前年同期比5.8%増）となりました。利益面では、営業利益361百万円（前年同期比5.8%増）、保険解約返戻金及び受取補償金計上の影響により経常利益425百万円（前年同期比21.6%増）となり、四半期純利益は249百万円（前年同期比38.5%増）となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額	増減率
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	（%）
スキンケア	808	39.1	831	38.0	22	2.8
ヘアケア	1,191	57.7	1,207	55.3	16	1.4
カラー剤	—	—	36	1.7	36	—
その他	196	9.5	259	11.9	62	32.1
売上割戻金	△131	△6.3	△149	△6.9	△18	—
合計	2,065	100.0	2,184	100.0	118	5.8

(注) 1. イノベーション・アカデミー株式会社（連結子会社）、ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED（連結子会社）の売上高は、金額が僅少であるため、その他に含んでおります。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしておりませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、3月にリニューアルしたメイクアップ商品や、10月リニューアルの美容液拡販に向けてA・C・Sサロンスタッフ用キャンペーンを実施したことにより伸ばいたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は831百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、イオントリートメント機器が引き続き好調に推移し、Re:V>>>シリーズも順調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,207百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

(カラー剤)

糖とミネラルの研究で培ったノウハウを活かし、当社初のカラー剤であるRe:V>>>Natural Colorを平成26年10月に発売、平成27年2月には新色を追加発売いたしました。髪や頭皮への刺激を緩和しつつ髪色を楽しめるグレイカラーとして、ヘアケアのRe:V>>>シリーズ導入サロンを中心に営業活動を行いました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は36百万円となりました。

(その他)

ボディケアシリーズにおきましては、商品ラインアップ充実を図るため、平成27年6月に発売したボディ用日焼け止め等が売上に寄与いたしました。

また、MAPシステム※注3におきましては、当第2四半期連結会計期間末における契約件数が260件（前期末比10件増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は259百万円（前年同期比32.1%増）となりました。

※注1「サロン」

美容室、理容室、エステティックサロンを指します。

※注2「A・C・Sサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたA・C・S加盟規約を遵守することを確約したサロンを指します。

※注3「MAPシステム」

サロンの顧客管理、経営分析のために提供しているクラウド型経営サポートシステムを指します。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して31百万円減少し、5,448百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して25百万円減少の3,722百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の増加594百万円、売掛金の減少146百万円、コマーシャル・ペーパーの償還による有価証券の減少499百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して5百万円減少の1,725百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して88百万円減少の660百万円となりました。主な変動要因は、未払法人税等の減少91百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して4百万円増加の408百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して53百万円増加の4,379百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金の増加61百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動及び保険解約により得られた資金を、投資有価証券の購入、配当金の支払等で使用した結果、前連結会計年度末に比べて65百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には2,159百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、225百万円（前年同期比140百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益426百万円の計上、売上債権の減少額146百万円、仕入債務の増加額38百万円、たな卸資産の増加額53百万円及び法人税等の支払額267百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、32百万円（前年同期比31百万円増）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入256百万円、保険積立金の解約による収入135百万円、投資有価証券の取得による支出149百万円、定期預金の預入による支出224百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、191百万円（前年同期比15百万円増）となりました。これは主に、配当金の支払額188百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の連結業績予想につきましては、前回発表（平成27年4月24日）の連結業績予想からの変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,861,692	2,456,418
売掛金	554,173	407,546
有価証券	499,940	—
商品及び製品	584,385	644,058
原材料及び貯蔵品	23,924	17,641
その他	229,000	200,476
貸倒引当金	△4,820	△3,318
流動資産合計	3,748,296	3,722,822
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	768,636	769,146
その他	558,862	561,774
減価償却累計額	△323,719	△342,055
有形固定資産合計	1,003,779	988,865
無形固定資産		
投資その他の資産	45,957	42,265
その他	689,409	701,419
貸倒引当金	△7,454	△6,726
投資その他の資産合計	681,954	694,692
固定資産合計	1,731,691	1,725,823
資産合計	5,479,988	5,448,646
負債の部		
流動負債		
買掛金	146,763	185,187
未払法人税等	235,724	144,647
賞与引当金	96,820	94,860
その他	269,697	235,434
流動負債合計	749,006	660,129
固定負債		
退職給付に係る負債	32,325	35,524
役員退職慰労引当金	329,000	332,499
資産除去債務	25,486	26,522
その他	17,632	14,073
固定負債合計	404,443	408,620
負債合計	1,153,450	1,068,750

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	733,584	733,584
資本剰余金	693,516	693,516
利益剰余金	2,892,952	2,954,392
株主資本合計	4,320,053	4,381,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△605	△9,609
為替換算調整勘定	7,089	8,012
その他の包括利益累計額合計	6,484	△1,597
純資産合計	4,326,538	4,379,896
負債純資産合計	5,479,988	5,448,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年9月20日)
売上高	2,065,705	2,184,585
売上原価	735,360	800,245
売上総利益	1,330,344	1,384,340
販売費及び一般管理費	988,933	1,023,205
営業利益	341,411	361,134
営業外収益		
受取利息	1,946	1,685
受取配当金	88	855
保険解約返戻金	985	42,384
受取補償金	—	21,542
為替差益	5,083	—
雑収入	485	2,034
営業外収益合計	8,589	68,502
営業外費用		
支払利息	—	43
保険解約損	240	3,369
為替差損	—	930
雑損失	5	1
営業外費用合計	245	4,344
経常利益	349,754	425,292
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,431
特別利益合計	—	1,431
特別損失		
固定資産除却損	9	583
リース解約損	1,864	—
特別損失合計	1,874	583
税金等調整前四半期純利益	347,880	426,140
法人税、住民税及び事業税	191,267	176,420
法人税等調整額	△23,826	△244
法人税等合計	167,441	176,175
少数株主損益調整前四半期純利益	180,439	249,964
四半期純利益	180,439	249,964

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月21日 至 平成26年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月21日 至 平成27年9月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	180,439	249,964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,277	△9,004
為替換算調整勘定	△2,399	922
その他の包括利益合計	2,878	△8,081
四半期包括利益	183,317	241,882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183,317	241,882
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月21日 至 平成26年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月21日 至 平成27年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	347,880	426,140
減価償却費	42,839	35,588
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△543	△2,229
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,998	△1,960
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,440	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	3,199
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,999	3,499
受取利息及び受取配当金	△2,034	△2,540
支払利息	—	43
為替差損益 (△は益)	△5,995	997
保険解約返戻金	△985	△42,384
固定資産除却損	9	583
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,431
売上債権の増減額 (△は増加)	109,012	146,626
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△255,184	△53,390
仕入債務の増減額 (△は減少)	150,051	38,423
その他	△68,999	△60,406
小計	334,489	490,758
利息及び配当金の受取額	944	2,540
利息の支払額	—	△43
法人税等の支払額	△250,850	△267,933
営業活動によるキャッシュ・フロー	84,583	225,322
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△21,385	△10,820
無形固定資産の取得による支出	△3,347	△5,949
投資有価証券の取得による支出	△40,540	△149,762
投資有価証券の売却による収入	—	51,473
定期預金の預入による支出	△74,052	△224,030
定期預金の払戻による収入	50,000	256,000
保険積立金の積立による支出	△15,490	△10,753
保険積立金の解約による収入	4,584	135,389
その他	454	△9,467
投資活動によるキャッシュ・フロー	223	32,078
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	350,000
短期借入金の返済による支出	—	△350,000
リース債務の返済による支出	△6,759	△3,380
配当金の支払額	△169,474	△188,337
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176,234	△191,717
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,848	△518
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△86,579	65,164
現金及び現金同等物の期首残高	2,099,805	2,094,601
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,013,225	2,159,766

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。